

令和6年度 学校運営等に関する評価書				
学校名	和歌山市立湊小学校			
作成日	令和7年2月13日			
1 教育目標				
人間性豊かで、たくましい子どもの育成				
2 学校自己評価についてのご意見				
	確かな学力の向上	豊かな心の育成	健やかな体の育成	地域とともにある学校
指標	・全国並びに県学習到達度調査で正答数が県平均を上回る。 ・毎日の授業がわかる(児童90%)	・学校が楽しいと感じる(児童90%) ・友達と仲良くしている(児童90%) ・命の大切さを教えてもらっている(児童100%) ・いじめの解消率100%	朝ごはんを食べた(児童100%) ・体力テストの結果が、全国平均と同等になる。	・学校の様子がよく伝わった(保護者90%) ・地域人材を活用した取組を実践できた。 ・幼稚園、中学校区で接続、連携した取組を実践できた。
意見重点目標に対する	○学力の基礎・基本を定着させるとともに、自分の考えを書く・話す力といった表現力の育成が大切である。 ○児童数が少ないので、話す・話し合う力の育成に取り組むやすいと思う。期待している。	○あらゆる場面で、児童が生き生きと学校生活を送れるよう、いじめ未然防止、早期発見・早期解決に向けて取り組むことが大切である。	○児童が規則正しい生活を送り、健康で前向きに学習できるよう、家庭・地域と連携して取り組む必要がある。	○地域人材を活用し、児童の学びが豊かになるよう、地域・家庭と連携してこれからも取り組んでいきたい。
意見取組状況に対する	○教員は研究授業に取り組む、指導力向上に努めている。 ○読書の推進はとても大切である。 ○個々の児童の基礎学力定着に向けた取組を工夫している。 ○各学年、少人数なので、きめ細かくみてやってほしい。	○子育て講演会を実施し、保護者や地域の方と一緒に、豊かな心を育てる子育てについて考える機会をつくっている。 ○いじめアンケートや日頃の様子から、いじめの兆候に気づいてあげることが一番。 ○縦割り活動での上級生の役割を自覚させてほしい。	○早寝早起き朝食は、体力づくりのためにも必要。生活習慣調査を今後も継続させてほしい。 ○毎朝、保護者も忙しいと思うが、朝食を食べさせてくれている。 ○家庭でのゲーム時間を守れるといいのだが。 ○体育的行事を通して、運動に意欲をもつことがよい。	○子どもセンター事業で、地域のみなさんといっしょに陶芸教室や絵手紙教室を実施している。このような形の交流もよい。 ○しょうが・太鼓・昔からの遊びなど、歴史のある取組を大切にしていきたい。
に取組する適切さの検証結果	○アンケート調査から、毎日の勉強があまりわからないと回答した児童の学力向上に向け、さらに取り組んでもらいたい。	○学校が楽しくないと回答した児童の話をよく聞きフォローしてあげる取組をさらに願う。 ○地域の方に対して、あいさつをよくする。素直な心が育っている。 ○運動会での4・5・6年生の放送や準備する姿がすばしかった。	○朝ごはんを食べて登校できているのがすばらしい。 ○学力向上だけでなく、体力向上も大切。なわとび記録会に向けて、学校でも家でも縄跳びをよく練習し、成果が見られる。	○挨拶はコミュニケーションの第一歩。とても重要である。 ○児童は地域の方に感謝の思いを持ち、地域の方は児童から元気をもらうと言っていただけの関係がよい。
改善年度に向けての意見	○わかりやすい授業の実践、湊っ子タイム、補充学習の充実を進めてほしい。 ○学校だけでなく家庭学習を増やして学力向上をめざしていくことも必要である。	○いじめに関しては、常に児童の様子を注意深く見守りながら、より一層取組を充実させてもらいたい。 ○児童が悩みを話せるように、担任だけでなく、話しやすい先生が身近にいる環境をつくってほしい。	○これからも保護者と連携して健康な体づくりに取り組んでもらいたい。	○地域との交流を続け、保護者や地域の方に学校へ来てもらう回数が増えるとうい。
3 其他のご意見				